

ちよつと小耳に

演劇で長門を盛り上げたい



かわの 智 さん
 ながと近松実験劇場・劇団員／東深川藤中

「演出家の指示を受けながら、プロの役者と一緒に一つの作品を創り上げていく、その過程が一番楽しいです」
 長門市文化振興財団主催の「ながと近松実験劇場」に、地元出演者として参加している河野智さん。知人が舞台で活躍しているのを観て、「自分も舞台上に立つてみたい！」と第7回公演より出演。今では地元役者の中心的存在として活躍中です。



第8回公演「雪女五枚羽子板」

が増えてほしい。演劇で長門を盛り上げることができるようがんばりたいです」と抱負を話してくださいました。
 ながと近松実験劇場第9回公演「曾我会稽山」は10月1日（土）、2日（日）、第10回公演「仏母摩耶山開帳」は11月26日（土）、27日（日）にルネッサながとで開催予定です。

連絡帳 向津具小学校

みんなでき



さかの なつき さん
 向津具小学校6年／油谷向津具下大浦西

向津具小学校では、全校で和太鼓の活動に取り組んでいます。練習は毎週火曜日の昼休み後の「のびのびタイム（10分間）」と4年生以上は発表を行うため、毎月1回、1時間しています。

私たちが太鼓を披露する場であり、これまでのがんばりを見てもう場のひとつに「向津具大運動会」があります。演奏中、私は少しあせってしまいましたが、それぞれの音がばらばらになってしまってもなく、演奏を終えることができました。特に会場のお年寄りの方に喜んでもらえ、うれしかったです。大太鼓2人、中太鼓4人、小太鼓20人、竹5人の31人という少ない人数ですが、みんなの心が一つになったから、人



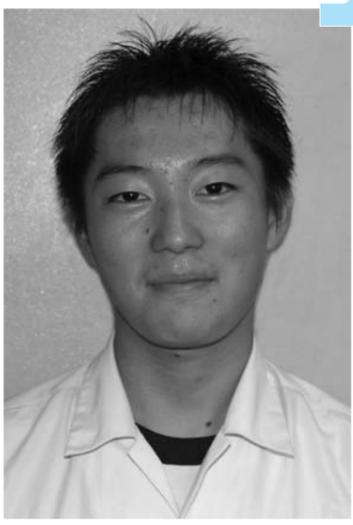
向津具大運動会での演奏

数の何倍ものいい演奏ができたのだと感じました。
 11月には「西部音楽祭」があり、私たちはここでも和太鼓の演奏をします。気持ちを一つにしてがんばって練習し、すばらしい演奏を披露したいです。そして、小学校のいい思い出にしたいです。

連絡帳

可能性を信じて

深川中学校



おおたに かずひろ さん
 大谷 和弘 さん
 深川中学校3年／東深川藤中

「努力三倍、頂点をめざして」を合言葉に、仲間と共にながとにきたこの二年半は、かけがえのないものとなりました。
 中学校から卓球を始めた僕たちにとって、「中国・全国大会」に出場することはまさに夢でした。しかし、新チームになり「目標は高ければ高いほどいい。自分たちの可能性を信じて頂点をめざそう」という先生の言葉のもとにみんなが一丸となり、全国への挑戦が始まったのです。
 今振り返ってみると、春季県優勝、中国大会出場の目標を達成し、全国への夢は消えましたが、僕たち次への夢を踏み出す大きな自信をつかむことができました。そして何よりも僕自身、いつも早朝から弁当

を作ってくれた母、試験中でも大会前には必ず練習相手をしてくれた兄、中国大会出場決定の知らせを聞いて涙が止まらなかったという父、いつも家族みんなの深い愛情に包まれていた自分に気づくことができました。
 今までお世話になった方々への感謝の気持ちを絶対に忘れず、新たな目標に向けてこれからはがんばりたいと思います。



中国中学校卓球選手権大会

熱血! 新鮮力

ふれあいを大切に



あらかわ さち さん
 荒川 紗知 さん
 長門総合病院勤務／東深川正明市4区

※仕事は 4月から内科病棟で、患者さんの日常的な援助や医師の診療の補助などを行っています。医療の現場なので間違いがないようにゆとりでもいいから一つひとつ確認しながら作業しています。
 ※動機は 小さい頃から看護師に興味がありました。祖母が入院したときに、働く看護師の姿を見て私も同じように人の命を救う手助けがしたいと思いました。
 ※趣味は 活字が好きなので図書館にはしょっちゅう行ってますよ。多いときには週に4冊は読みます。

※好きなタイプは 誠実な人。自分の意見をきちんと持っている人がいいですね。
 ※どんな長門に 都会と違って自然が多くのかで平和な長門が続いてほしいと思います。子どもたちが遊べる公園が増えたらいいな。
 ※自由に一言 患者さんとのコミュニケーションを大切に、早く一人前に認められるように頑張ります。

